

科目名 (科目番号)	成人看護学 実習 I (074133)	教員名	吉田和美 日向野香織 宮本まり子 岡嶋妙子 須田香奈子 他	学科等	看護	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	実習		単位数	3
				オフィスアワー				
授業概要	成人期の発達段階・発達課題をふまえ、患者の健康上の問題を科学的根拠に基づき理解し、健康障害のレベル、あるいはニーズに対応した看護過程を展開することで看護実践能力を習得する。さらに、学習者・将来の看護専門職者として、ふさわしい態度およびコミュニケーション能力・自己の看護観を育成する。 関係する垂直軸:看護・人間の理解・健康の状態・コミュニケーション・生活環境・多職種連携・情報の組織化・自己研鑽							
準備学習								
授業計画	到達目標・学習内容							
	<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 慢性・終末期にある対象者とのかかわりを通して看護における援助関係を形成できる。 慢性・終末期にある対象者の病態、検査、治療過程および生活に及ぼす影響について理解し看護を実践することができる。 対象者への援助の観点から、チーム医療について理解できる。 看護者として倫理的配慮ができる。 学習者・将来の専門職者として、相応しい態度および看護観を深め明確にできる。 <p>学習内容</p> <p>慢性・終末期にある成人(老年)期の入院患者を1名以上受け持ち、その疾病・治療経過をふまえ、患者の全体像を理解し、既習の知識・技術の統合あるいは新たな学習により、必要な看護を実践・評価することを学ぶ。さらに、外来、透析室など特殊な環境について実践を通して学習する。</p> <p>詳細は実習要項「成人看護学実習」を参照のこと。</p>							
実習期間	実習要項「成人看護学実習」参照							
実習場所	1)筑波大学附属病院 2)牛久愛和総合病院 3)筑波記念病院 4)筑波メディカルセンター病院							
実習方法	実習要項「成人看護学実習」参照							
成績評価の方法・基準	成人看護学実習 I 評価表に基づき評価を行い、60%以上の取得を合格とする。							
参考図書	随時紹介する。							
教員からのメッセージ	これまで成人看護で使用したテキストを有効に活用して積極的な学習が必要です。 心身の体調を整えて、教員・臨床指導者の助言をもとに、看護の楽しさを一緒に学んでいきましょう。							